

授業計画（シラバス）

■科 目	歯科診療補助Ⅱ		■講師名	猪島恵美子	
Ⅱ部1学年	後期	15コマ（1コマ90分授業）	総時間	30時間	実習1単位
■学修概要					
<p>歯科診療の補助を行える歯科衛生士になるために必要な基本知識をつけ、医療人としての心構えを理解し、材料の取り扱い・直接対面行為を含む実習を行うことで技術と態度を修得する。</p>					
■授業目的、到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科材料の取扱いができる</li> <li>・ 直接対面行為を含めた歯科診療の補助を行うことができる</li> </ul>					
■授業方法					
講義 実習					
■教科書（書籍名・著者・出版社）					
歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科機器」 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科材料」 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「保存修復・歯内療法」 医歯薬出版					
■成績評価・講義上の注意					
授業態度、実習態度、出席状況、提出物、定期試験の総合評価					
■実務経験					
一般歯科医院での歯科衛生士業務の実務経験があり、かつ歯科衛生士学校の専任教員として基礎実習の担当も行っている。全国歯科衛生士教育協議会では教育委員を務めており、歯科衛生教育学会、歯科衛生学会に所属している。					
■授業計画（講義の流れ）					
1	印象材①（印象材の基礎知識）				
2	印象材②（アルジネート印象材）				
3	印象材③（寒天印象材、その他の印象材）				
4	模型材①（歯科用石膏）				
5	印象材④（スタディモデルの作製）				
6	模型材②（スタディモデルの作製）				
7	合着材①（合着・接着材の基礎知識）				
8	合着材②（リン酸亜鉛セメント）				
9	合着材③（その他の合着・接着材）				
10	仮封材（仮封材の基礎知識）				
11	対面直接行為①（隔壁法）				
12	対面直接行為②（歯間分離、歯肉圧排）				
13	対面直接行為③（ラバーダム防湿の知識）				
14	対面直接行為④（ラバーダム防湿の術式）				
15	定期試験 解答解説				